

令和5年度 第1回 新道区地域協議会

次 第

日時：令和5年4月25日(火)午後6時から

会場：新道地区公民館 多目的ホール

延べ1時間00分

1 開 会

【2分】

2 議 題

(1) 協議事項

【40分】

- 地域活性化の方向性について

(2) 自主的審議事項

【10分】

(3) その他

【5分】

3 その他

(1) 次回開催日の確認等

【3分】

- 日時：5月23日(火)午後6時から
- 開場：新道地区公民館 多目的ホール
- 内容：地域活性化の方向性、自主的審議

(2) その他

4 閉 会

新道区の
アイコトバ

- ◎ 発言は、簡潔に話そう！
- ◎ 発言しやすい雰囲気をつくろう！
- ◎ 個人の意見を平等に扱おう！

地域活性化の方向性 カテゴリー

＜新道区の地域活性化に向けて＞

※全体テーマの提案及び具体事業例は一旦除く

意見種別	分野	全体テーマを構成する要素（委員意見）
課題	地域振興、にぎわい・交流	河川敷の活用による交流広場の整備
課題	地域振興、にぎわい・交流	若者の創意工夫を活かした稲田商店街の活性化
課題	地域振興、にぎわい・交流	地域活動の充実を図り、人材育成の推進
課題	地域振興、にぎわい・交流	地域交流の輪を広げ、新道地区の活性化を図る
課題	防災・防犯、安全・安心	オレオレ詐欺、強盗等から住民を守る防犯対策の取組の推進
課題	防災・防犯、安全・安心	関川河川敷の癒しのエリアを守る水害対策
課題	防災・防犯、安全・安心	水害等の災害から住民を守る取組の推進
課題	防災・防犯、安全・安心	冬期間の安心・安全な暮らしの推進・通学路の確保
課題	産業	上沼道の開通を見据えた、商業施設の誘致（稲田地区）
課題	子育て	公民館、児童館、放課後児童クラブ等が連携した、地域一体となった子どもを育む体制の構築
課題	インフラ、施設整備	子育て環境・集会施設の充実
提案	地域振興、にぎわい・交流	南北に長い地域であり難しい側面もあるが、ここに住む人々の交流を促進する
提案	地域振興、にぎわい・交流	2つある小学校の児童、住民が交流できるイベントの企画
提案	地域振興、にぎわい・交流	お店の紹介 菓子 他
提案	地域振興、にぎわい・交流	マルシェの開催 おたやに合わせて
提案	地域振興、にぎわい・交流	関川を利用した 遊び イベント
提案	地域振興、にぎわい・交流	公共施設、商業施設、住民が一体となったイベントの開催（新道まつり）
提案	地域振興、にぎわい・交流	子どもから大人まで住み続けたいと思う町づくり（地域づくり）
提案	地域振興、にぎわい・交流	小中学生との交流を多くして地元愛について共に学び、通年を通してイベントを行う（地区全体に連帯感のある行事）。
提案	地域振興、にぎわい・交流	地域の医院 病院 保育園 学校の地図
提案	地域振興、にぎわい・交流	南部・中部・北部の交流（一緒にできる活動、交流場所の確保etc.）
提案	歴史、文化顕彰	各地区ごとに伝わる伝統行事の継続実行・拡大
提案	福祉、医療	高齢者や独居老人の健康保持増進を図る、医院、保健師、地域住民が連携した健康・医療体制の構築
提案	福祉、医療	中央病院・看護大学と協同での健康維持交流システム作り
提案	産業	地場産業の興隆と地域住民が、やり甲斐を持って働ける場作り
提案	環境、景観保全	関川河川敷の植栽活動
要望	防災・防犯、安全・安心	通学路及び道路整備による安全安心な町づくり
要望	人口減少、空き家対策、移住促進	空家対策（地域おこし協力隊やNPOの定住やシルバー人材センターへの管理委託など）

要望	インフラ、施設整備	県道・板倉直江津線の整備
要望	インフラ、施設整備	点在する商業施設へ安心してアクセスできる道路等の整備
要望	インフラ、施設整備	関川河川敷を利用し地域の人々が集うことができるエリアの整備
要望	インフラ、施設整備	誰でも集まる施設
要望	インフラ、施設整備	高齢者が集える施設の必要性（令和7年度をもって芙蓉荘が使えなくなる）
背景、問題	地域振興、にぎわい・交流	地域の若者が活躍し集まるまちづくりを指す。
背景、問題	地域振興、にぎわい・交流	高齢世帯や空き家が増える一方、若者が減少し地区の活気が全体になくなってきている。若者や区外から人が集まる地区にする。
背景、問題	人口減少、空き家対策、移住促進	空き家問題の解決に向けた取り組み
背景、問題	子育て	子供が集まって安心して遊べる環境づくり
特徴	歴史、文化顕彰	偉人の紹介
特徴	歴史、文化顕彰	稲田の雁木（町並み）整備
特徴	歴史、文化顕彰	古くからの伝統行事、史跡等、後世に残す様、地域住民に関心を持ってもらい、地域の活性化を指す。
特徴	歴史、文化顕彰	新道地区の歴史
特徴	歴史、文化顕彰	諏訪神社 光明寺
特徴	地域振興、にぎわい・交流	稲田祇園祭 他 行事
特徴	人口減少、空き家対策、移住促進	地域の利便性、居住性の良さをPRし居住者の誘致
特徴	その他	関川に沿って市街地、商業施設、病院、個人医院が多く有り、中部では、農業地帯も広く生活環境にとっても恵まれている地区である。

③全体テーマ

②構成要素

分野	



①新道区地域協議会委員から寄せられた「構成要素」

分野	課題、提案、要望	問題
地域振興、にぎわい・交流	<ul style="list-style-type: none"> ・関川河川敷の活用による交流広場の整備 ・若者の創意工夫を活かした稲田商店街の活性化 ・地域活動の充実を図り、人材育成の推進 ・住民の連帯感を生むための地域交流イベントの実施 ・子どもから大人まで住み続けたいと思う地域づくり ・地域の主要施設、店舗のマップや商品等の案内づくり 	・若者の減少により地区の活気が薄い
防災・防犯、安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪から住民を守る防犯対策の取組の推進 ・水害を始めとする災害対策 ・安心・安全な通学路の確保 	
福祉、医療	・病院や大学との連携による健康維持交流	
歴史、文化顕彰	・各地域の伝統行事の継承	
産業	<ul style="list-style-type: none"> ・上沼道の開通を見据えた、商業施設の誘致（稲田地区） ・地場産業の興隆 ・地域住民がやりがいを持って働ける場づくり 	
子育て	・地域一体となった子どもを育む体制の構築	・子どもが安心して遊べる環境がない
環境、景観保全	・関川河川敷の植栽活動	
インフラ、施設整備	<ul style="list-style-type: none"> ・人々が集える集会施設の整備 ・県道・板倉直江津線の整備 ・点在する商業施設へ安心してアクセスできる道路等の整備 ・関川河川敷を利用した交流スペースの整備 	
人口減少、空き家対策、移住促進	・空き家活用や管理対策	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家の増 ・高齢世帯の増
特徴		
歴史、文化顕彰	<ul style="list-style-type: none"> ・稲田の雁木（町並み）整備 ・古くからの伝統行事、史跡（諏訪神社、光明寺）や偉人 	
地域振興、にぎわい・交流	・稲田祇園祭 他 行事	
人口減少、空き家対策、移住促進	・地域の利便性、居住性が良い	
その他	・関川に沿って市街地、商業施設、病院、個人医院が多くあり、中部では、農業地帯も広く生活環境にとっても恵まれている地区である。	

課題 …問題に対応すべく取組むべき内容
 提案 …課題解決等のために取り組む具体的な事業提案（地域自らの取組）
 要望 …市等他組織、団体などに実施を望む意見（市等への提案を含む）
 問題 …地域で抱える問題